提案
25 保釈金を、公共安全と逃亡する危険性を基にしたシステムに切り替える法律に関する住民の直接投票。

★ 提案25の賛成意見 ★

今こそCalifornia州の保釈金システムを安全性と公平性に基づいたものに変える時です。

保釈金をなくしましょう。より安全で、公正で、お金のかからないシステムのために提案25に賛成票を投じましょう。

保釈金は不公平です。

現在の保釈金システムでは、保訳金を払えるお金がある者は、裁判までは自由の身となります。保釈金が払えない場合は、刑務所にいなければなりません。よって、裕福な者は、重い暴力的な犯罪で告訴されても自由な身であり、貧乏な者は無罪や軽い非暴力的な犯罪であっても刑務所にいなければなりません。保釈金は安全ではなく、極めて不公正な結果をもたらします。

例をあげると、高齢者のKenneth Humphreyは$5とコロンのボトルを盗んだ罪に問われました。彼は危険だからではなく、保釈金が払えないという理由で、一年近く裁判日まで刑務所の中で待つことを余儀無くされました。California州控訴裁判所はHumphrey氏が「貧困のためだけに刑務所に拘置された」と判決を下しました。残念ながら、このような話は何千とあります。

保釈金は安全ではない:

提案25は、支払い能力ではなく、我々の安全への危険性に基づいて決定するものです。裁判官は、裁判前に拘置する者を決めるとき、その者が新たな罪を犯したり、逃亡したりする危険性があるかで決断を下します。当人の財布の中身に基づいて判断しません。

提案25では、貧困な者ではなく、実際に危険で釈放されるべきではない者のために刑務所のスペースを確保することで、地域社会をより安全にします。

保釈金はコストがかかる:

提案25は納税者に年間数千万ドルの節約をもたらします。現在のシステムでは、約46,000人のCalifornia州の人々が、保釈金が支払えないため、地方刑務所で裁判や判決を待っており、納税者は、毎日このために$500万払っていることになります。

保釈金をなくしましょう。より安全で、公正で、お金のかからないシステムのために提案25に賛成票を投じましょう。

無実の人が苦しむ:

保釈金システムは、罪を犯していない人を有罪として強いることができます。

無罪の者が、$5,000以上の返金不可の料金を保釈保証会社に支払えず、しかし裁判を待つ間に仕事や家庭を危険にさらして刑務所で待つ余裕がない場合、有罪を認める場合があり、永久に犯罪記録が残ることになります。刑務所では、多くの者たちはほとんど、または全く精神健康管理を受けず、投獄は彼らの現在の状態を悪化させます。

賛成票に投じることで、無実の人が刑務所で放置されたり、犯していない罪で有罪を強いられたりするのを確実に止めましょう。

提案25に賛成を。

搾取する保釈金業界は我々の地域社会のことは気にかけていません:

しかし、保釈金業界が大人しくしていることを期待してはいけません。$20億規模の業界であり、貧困層から富を得ている搾取的な保証金保険会社が率いています。提案25は労働者から利益を得る不公平なシステムをなくすものであり、その理由で保証金保証業界はこの法案と戦うために何百万ドルも費やします。

安全性は我々を導く原理であり、人の財布の中身で決まるものではありません。

提案25に賛成を。

www.YesOnCAProp25.com

LENORE ANDERSON、代表
Californians for Safety and Justice

DIANA BECTON、Contra Costa、郡地方検事長

HEIDI L. STRUNK、代表
Mental Health America of California

★ 提案25の賛成意見に対する反論 ★

提案25は不公平で危険でコストがかかる

Sacramentoの政治家によって作成された提案25は、California州のすべての人々から保釈金提示の選択の権利を排除し、郡が管理するコンピュータベースのプロファイリングのシステムが誰を保釈して、誰を裁判まで刑務所に残すかを決めることと置き換えるものです。なぜ、市民権団体、犯罪被害者の擁護団体、法施行および地方公務員すべてが提案25に反対しているか確認してください。

提案25は不公平である

提案25のコンピュータプロファイリングはマイノリティや移民や低所得者が集中する地域の住民を差別することを示しています。*これがNAACPやUnited Latinos Voteといった市民権グループが提案25に反対している理由です。*

提案25は安全ではない

保釈金は重要な憲法の権利であり、被告人が刑務所から釈放される条件を満たし、公判に出廷し、もし出廷しない場合は責任を負うことを保証しています。新型コロナウイルス感染症の流行中にCalifornia州が行った「保証金なし」の実験は悲惨な結果に終わりました。多くの被告人が一日のうちに複数回逮捕、釈放、そして再逮捕されました。提案25は、*保証金なしを恒久的なものとします。これが法執行および被害者の権利団体が提案25に反対している理由です。*

提案25はコストがかかる

提案25では、コンピュータの決定を覆す追加の法廷審問が必要となるため、すでに滞っている裁判所でさらなる遅れが生じます。市や郡が歴史的な財政赤字に直面し、不可欠なサービスを大幅に削減するなか、提案25は地方政府やCalifornia州が新しい官僚制度を作り、運営するために毎年何億ドルも費やすことになります。*これが地方政府や納税者擁護団体が提案25に反対している理由です。*

提案25に反対票を！

ALICE HUFFMAN、代表
California State Conference of the NAACP（全米黒人地位向上協会California州協議会）

CHRISTINE WARD、事務局長
Crime Victims Alliance

JOE COTO、代表
United Latinos Vote

本ページに印刷されている意見は著作者の意見であり、公的機関はその正確性を確認していません。

★ 提案25の反対意見 ★

提案25はCalifornia州の全ての人から保釈金の権利を取り上げる

California州の司法制度は、非暴力的犯罪で訴えられた者は、保釈金を提示するか、裁判官の命令により、釈放を確保する選択肢を保証しています。しかし、提案25は、この権利を、58の郡が管理する数学的アルゴリズムに基づくコンピュータ生成の予測モデルの自動システムと置き換えるものです。なぜ、市民権団体、犯罪被害者の擁護団体、法施行および地方公務員すべてが提案25に反対しているか確認してください。

市民権団体は警告している。提案25はマイノリティや貧困層に不利になる

提案25は重大な犯罪の司法決定をするのに、コンピュータベースのアルゴリズムシステムを強要しています。NAACPのような市民権グループは、有色人種や経済的に不利は地域の人たちに偏った結果を生み出すとして、提案25に反対している。

- 「提案25はアフリカ系アメリカ人、ラテン系、その他のマイノリティに対してさらに差別的なものとなるでしょう。コンピュータモデルは曲や映画を勧めるには良いが、これらのプロファイリング方法を刑務所から釈放される人や融資をうける人などを決定するために使うことは、有色人種の地域社会を傷つけると証明されています。」 *Alice Huffman*、*代表*、*California State Conference of the NAACP（全米黒人地位向上協会California州協議会）*

提案25: 地域社会から安全を奪う

新型コロナウイルス感染症の流行中にCalifornia州が行った「保証金なし」の実験は悲惨な結果に終わりました。多くの被告人が一日のうちに複数回逮捕、釈放、そして再逮捕されました。提案25で「保釈金なし」は恒久的なものになります。これが州全体の法施行が反対している理由です。

- 「提案25は公共安全を危険にし、警察や保安官の部署の仕事をさらに難しくします。」*Chad Bianco*、*Riverside郡保安官*

提案25: 正義の否定

California州の現行のシステムでは、犯罪で訴えられた者は裁判に出廷することを確実にし、出廷しない者は被告人はその行動について責任を負うことで正義を与えています。

- 「提案25は我々の地域社会の中で、被告人が出廷し、裁判で自分の運命に直面するという最高の手段を破壊します。」 *Christine Ward*、*事務局長*、*Crime Victims Alliance*

提案25: 納税者に毎年何百万ドルもの税金を課す

提案25は、裁判までに誰が刑務所から釈放されて、誰が釈放されないかを決定するために、新たな官僚制度を作ることを強制しています。この新たな州の命令を実行するには、新型コロナウイルス感染症のため、州や郡が歴史的な予算削減に直面している中、納税者が何億ドルも支払うことになります。

- 「提案25により、毎年、州や地方政府は何億ドルも支払うことになるでしょう。これにより不可欠な公共サービスは削減されるか、税金を上げることになりますが、現在の我々の地域社会には余裕がありません。」*Sacramento County Supervisor*、*Sue Frost*

提案25: すでに混雑している裁判所の負担増加

提案25は納税者にとってはほとんど無料で機能している保釈システムを、コンピュータの決定を覆すために、さらなる法廷尋問を必要する新たなシステムと置き換えるものであり、未執行の司法制度に、さらなる遅れをもたらします。

- 「例えば、配偶者、息子、娘、親しい友人が保証金ですぐに保釈されたり、直接裁判官と話すことをその場で選択するのではなく、コンピュータや官僚制によって、刑務所に入れられたことを想像してみてください。」 *Quentin L. Kopp*、*California州上級裁判所裁判官（退任済み）*

提案25に反対票を！

ALICE HUFFMAN、代表
California State Conference of the NAACP（全米黒人地位向上協会California州協議会）

CHRISTINE WARD、事務局長
Crime Victims Alliance

QUENTIN L. KOPP、California州上級裁判所裁判官（退任済み）

★ 提案25の反対意見に対する反論 ★

保釈金は差別的で信用できないシステムです。

なくすよう支援してください。提案25に賛成を。

今日、裕福な者は、どんなに狂暴な犯罪で訴えられても、保釈金を払うことができ刑務所を出ることができます。保釈金は不当で不公平です。

なぜ非暴力的な軽罪で訴えられた貧乏な者は、保釈金が払えないという理由だけで、刑務所に入れられるのに、裕福な者が出られるのでしょうか？変えるべき制度です。保釈金は払える者にとっては「権利」にすぎません。無実だったり、告訴が取り下げられた場合でも、保釈金は戻ってきません。

Bankers Insurance CompanyやLexington National Insurance Corporationなどの巨大な保釈金業界は自身の利益を守り、壊れた差別的なシステムを残すために何十億ドルも費やしています。彼らは強欲さから提案25に反対しています。彼らが反対キャンペーンにどのような資金を提供しているかは*http://cal-access.sos.ca.gov/Campaign/Measures*をご覧ください。

提案25は保釈金と、裁判官が安全性に基づき決定をするシステムと置き換えるものです。コンピュータのアルゴリズムが決定を下すのではなく、裁判官が決定します。

Judicial Council of Californiaによれば、提案25は「被告人が市民に危害を及ぼすか、裁判前に釈放された場合、出廷する可能性はあるかなどの決定におき、裁判官を支援するために、情報を収集しレポートを提供します。」

提案25は偏見や人種間の格差をなくすために、透明性と市民の評価を取り入れています。

提案25は新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に対する一時的な公共衛生の対応「保釈金ゼロ」とは全く関係がありません。

最終的には真の社会正義の改革のために、提案25に賛成票を投じることでシステムを変えましょう。

保釈金を根絶しましょう！

STEVEN BRADFORD、副議長
California Legislative Black Caucus

LESLI CALDWELL、郡代表国選弁護士（退任済み）

JESSICA BARTHOLOW、政策擁護者
Western Center on Law & Poverty

本ページに印刷されている意見は著作者の意見であり、公的機関はその正確性を確認していません。